

令和8年度 第1回 日高市いじめ問題専門委員会 会議録

- 1 開催日時 7月21日（火）14：00～15：30
- 2 開催場所 日高市役所5階 503会議室
- 3 公開・非公開 一部非公開
- 4 非公開理由 個人情報を含む内容のため
- 5 出席者 野村委員長、近藤副委員長、北野委員、本橋委員、橋本委員、山中委員
- 6 欠席者 加藤委員
- 7 説明員 学校教育課指導主事
- 8 事務局 島津教育長、森田部長、志村参事、学校教育課下ノ坊課長
教育センター澤田所長、市川主幹、谷津田指導主事、釣谷指導主事
- 10 傍聴者 なし
- 11 協議事項 小・中・義務教育学校におけるいじめの実態について
- 12 会議の経過

- 1 開会
- 2 あいさつ

【教育長】

- ・日高市は今日まで1学期、明日から夏休み。
- ・SNSを利用した闇バイトなど、中学生も巻き込まれることもありえる。学校でも啓発をしている。
- ・教員の非違行為について、12月から日本版DBSが始まる。社会の変化に我々も対応していかなければならない。
- ・忌憚のない意見をお願いします。

【委員長】

- ・日高のいじめ問題について、現実的な対策をしてもらいたい

- 3 議事（事務局からの説明）

議題1 小・中・義務教育学校におけるいじめの実態について

①事務局より説明

- ・いじめの認知件数の推移
- ・学校別の認知件数について・・・（資料１）令和７年度 いじめ認知件数
- ・いじめの解消状況について
- ・いじめの解消件数の推移
- ・（資料２）学校区・学年別「令和７年度 いじめの認知率」
- ・（資料３－１・３－２）学校別「令和７年度 いじめの態様」
- ・（資料４－１・４－２）学校別「令和７年度 いじめの発見のきっかけ」

②質疑

委員：いじめ認知件数が令和４年度から増えている理由は。

事務局：埼玉県教委として、いじめ見逃し０をうたっている。

取組が強化されてきたのが令和４年度だった。

委員：なぜ高萩北小のいじめの認知件数が低いのか。アンケートの取り方等、違いがあるのか。

事務局：アンケートについては、他の学校と同じであり、すべて同じように計上している。

子どもたち自身の認知が少ないのではないかと捉えている。

委員：認知が少ない理由は。

事務局：明確な理由はまだ分からないが、市内各校の生徒指導主任が集まる生徒指導主任研修会にて、学校取組を共有していく。

委員：高萩北小・高萩北中・日高高校の３校でのあいさつ運動が新聞に掲載されていた。

そのような取組が繋がっているのではないか。風土などが関係しているのか。

事務局：高萩北小の取組について、分離型ではあるが、高萩北中や日高高校が高萩北小に集まることができる。

何でも楽しく考える風土があると思われる。

委員：児童生徒数が少ない学校の認知の割合が高いのはなぜか。先生の目が行き届いているから高いのか。

事務局：ほかの学校よりも目が届いていると思われる。

内容について、認知についても、小さなことでもいじめとして捉えている。

議題２ いじめ防止のための取組について

①事務局より説明

- ・（資料５）日高市いじめ防止等のための基本的な方針
- ・（資料６－１・６－２）いじめ重大事態の調査に関するガイドラインの概要及びチェックリストについて
- ・（資料７）いじめアンケート（市内全校共通のアンケート）について

②質疑

委員：アンケートについて、「〇月から現在まで」とは、どういう事か。

事務局：１学期であれば４月など、どの学期にも対応できるようになっている。

委員：アンケートを書いた時、言いたかったけど言えなかった。次のアンケートの時に、期間を指定することで、捉え方によっては、以前の期間のことを書いてはいけない

とってしまう子もいるかもしれないので、期間を指定するのはどうなのか。

事務局：検討していく。

委 員：アンケートの実施方法について、マニュアル化しているか。

アンケートを取った後の聴き取りについては、どうしているか。

事務局：聞き取りは主に担任がしている。一人ひとり確認していく。

校内の生徒指導委員会などで、対応策を検討していき、対応していく。

委 員：基本は担任で、子どもによっては、別の方が対応することもあるのか。

事務局：担任よりも話しやすい先生に聞いてもらう場合もある。

委 員：答えた内容はどこまで共有されるかを子どもは知っているのか。

事務局：内容によっては、周りの子に言ってほしくないと訴えてくる場合もある。

学校で検討しながら、組織で対応している。

委 員：言わないでということと言語化できる子とできない子がいる。

聴き取りするときに、事前の説明があるといいかもしれない。

事務局：検討して、対応していく。

委 員：高萩北小の認知件数が21件しかない。調べ直しなどすることがあるのか。この認知件数の少なさはすごいと思うが、鵜呑みにしていいのか。

事務局：基本的には差し戻すことはない。子どもたちから上がってきたものは、カウントしている。今後も、学校の方に聴き取りもしていく。

委 員：市の方針のいじめ防止について。小中一貫の教育活動が、いじめの認知件数として成果があるのかどうか。いじめの認知件数は増えているが、小中一貫教育を進めていることについてはどうなのか。

事務局：小中一貫を進めているが、小6と中1でどの程度差があるのかに注目している。教育委員会会議での高萩北小中の発表で、あいさつ運動、ごみ拾い等の活動の報告があった。また、非認知能力をテーマに研究している。ごみ拾いを見ていてあいさつ運動に繋がり、公園で遊びながらごみ拾いをするような子が出たり、ポスターを描いたりする子が出たり、温かい集団を作っていく。そういう活動を行っている。義務教育学校は施設も一緒、心の醸成ができるといいと思っている。

委 員：他の小学校は、あいさつ運動はやっているのか。

事務局：小学校単独でやっている学校もある

委 員：この活動からこの認知件数であれば、他の学校はなんでやってないの？と思った。

事務局：高萩北小は特別活動を一生懸命やっている印象がある。

委 員：高萩北小の活動や施策があれば、広げてほしい。

議題3 いじめ重大事態への取組について

個人情報を含む内容のため非公開

4 連絡

5 閉会